

平成 24 年 10 月 31 日

南の風 19

南部ミニバスケットボール連盟
会長 藤原 敬一

六ッ川の男子が県大会関東予選ベスト4に残っています。この勢いで、ぜひとも関東大会出場を決めてほしいと思います。南部連盟挙げて応援しましょう。“**がんばれ六ッ川男子！！**”一方女子は洋光台がベスト8まで勝ち上がりましたが残念ながら敗れてしまいました。しかしながら春からの洋光台の躍進は目を見張るものがありました。今後のさらなる飛躍を期待します。他には、女子で大正が順当にベスト4、男子は戸塚、豊田がベスト4と西部連盟の活躍が目立ちました。関東大会を目指して頑張してほしいと思います。

さて、先日横浜市連盟とは別に活動しているリーグの選抜チームの練習会に参加しました。その日は女子選手の練習会でした。約25名の選抜選手をAとBに分け、ゲーム形式の練習でした。驚いたのは将来性豊かな選手がたくさんいたことです。身長の高い選手（155cm以上）が10人位いましたが、全員がしっかり動けていました。また、さほど身長は高くないのですが、運動能力が高く、バスケットセンス（ビジョンのよさシュートセレクション等）が豊かに備わっている選手も多かったです。練習のねらいや方法（回数や時間なども含む）もきちんとして提示されていました。リーグを挙げて選手を育てていこうとする様子を垣間見ることが出来ました。

それぞれのチームのスタッフや保護者会の考えもあり、連盟には参加していないのですが、選手をしっかり育成していこうとする姿勢が窺え、同じミニバスケットボールに携わる者としてたいへんうれしく思いました。何人かの指導者の方と話をしたのですが、ハード面の一番の悩みは、練習日が少ないということでした。土日やれるチームはいい方で、土日どちらかというチームもありました。（これは施設の関係や指導者が参加できるか否かに関係している）抱える問題は連盟に所属するチームと同じでした。ソフト面で一番多かった悩みは、何をどう教えたら短時間で効果が上がるのかということでした。それには、下記の5つが大切になるのではないのでしょうか。

1 教える順序性

3 教える指導力

5 ゲームで学ぶ

2 教える系統性

4 教える具体性

この5つです。

ハード面はそれぞれのチームで考えて頂くとして、ソフト面について考えてみます。この南の風にも書きましたが、まず大切なことは以下のことではないのでしょうか。

- 1 チームの目標は何か（目標をクリアするには短時間では無理な場合もある）
- 2 チームの実態はどうか（選手の学年、個人差＝身長、運動能力、スタッフの力量等）
- 3 練習日＆練習時間の回数や量

このようなことをスタッフがしっかり把握して、教えることが必要となります。まずチームの目標については、スタッフ、選手はもちろんですが、保護者会もしっかり共有していかないとイケないと思います。全体の話し合いの中で、チームの目標を定め共通理解して進んでほしいものです。例えば、スタッフは富士山の頂上を目標としているのに、選手や保護者会は近くにある山の頂上を目標としていると（逆の場合もあります）チームの中がバラバラになります。目標に向かって一心同体がベストです。